

当社は、海上輸送のベストパートナーとして  
お客様のニーズに全力で応え、  
人にやさしい豊かな社会の実現に貢献します。

# 『当社の経営の現況と事業展開』

2006年7月

川崎近海汽船株式会社

代表取締役社長 荒木武文

東京証券取引所 市場第二部上場

証券コード 9179

# 本日のご説明内容

- I. 当社の概要
- II. 当社の事業内容
- .....当社PRビデオ上映.....
- III. 当社の業績
- IV. 当社の事業展開
- V. 配当について

# I . 当社の概要

# 会社概要

会社名	川崎近海汽船株式会社 KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA,LTD.
設立	1966年5月
本社所在地	東京都千代田区霞が関一丁目4番2号
資本金	23億6,865万円
従業員数	340名(連結 2006年3月31日現在) (単体 235名)
運航船	約50隻

# Ⅱ. 当社の事業内容

# 経営方針と事業内容

近海部門、内航部門、フェリー部門の  
三本柱を堅持

内航 フェリー  
バランスある経営を展開し、  
業容の拡大を目指す

# 近海部門

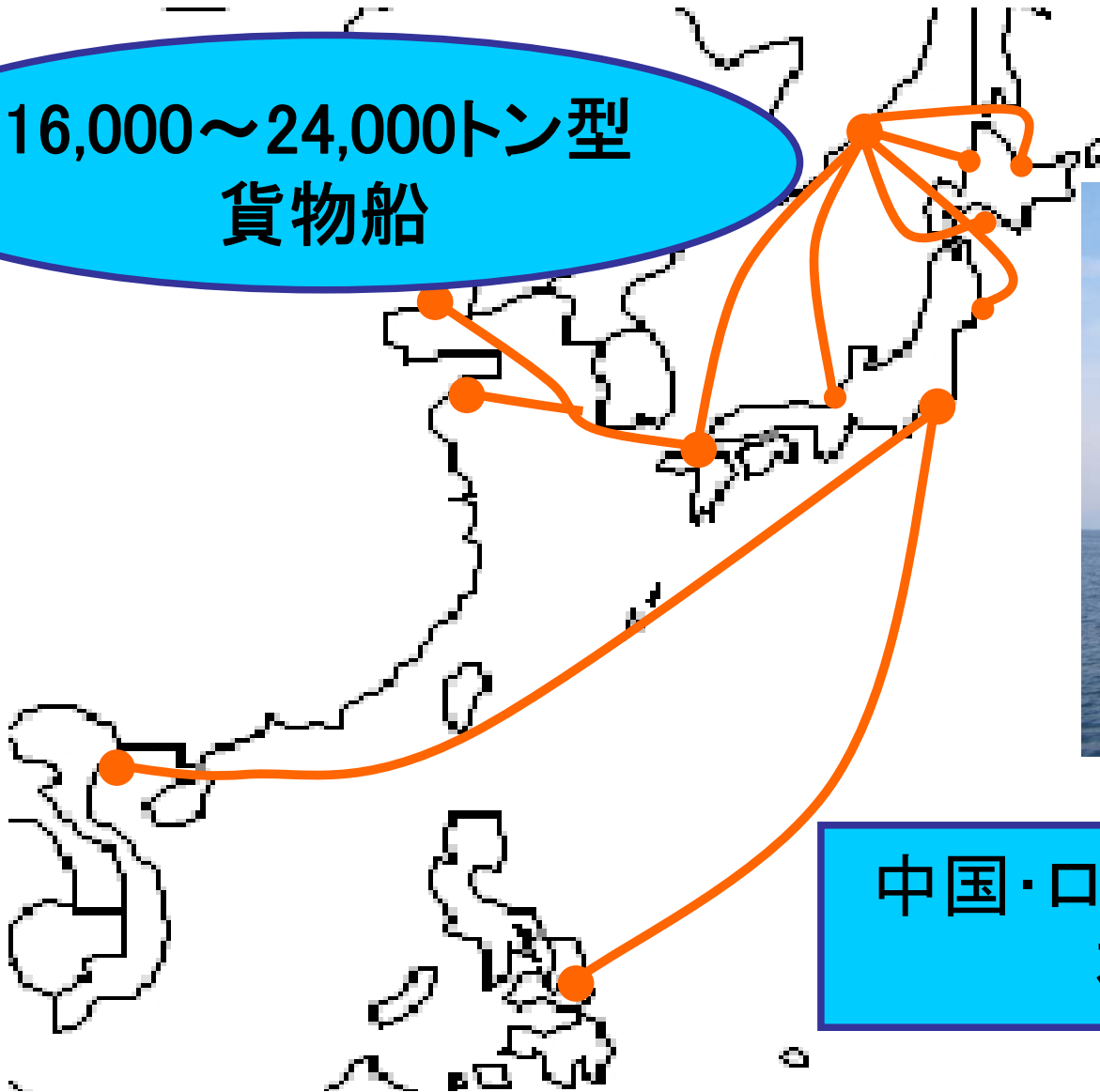
日本～東南アジア  
10,000トン型貨物船



日本～東南アジアを結ぶ外航航路  
鋼材・一般雑貨・木材製品などを輸送

# 近海部門

16,000～24,000トン型  
貨物船



中国・ロシア・東南アジア～日本  
石炭等原料輸送



# 近海部門

チップ専用船



東南アジア積チップ輸送

# 内航部門

釧路～日立  
ほくれん丸  
第二ほくれん丸



北海道産の飲用生乳輸送をメインに  
釧路～日立をデイリーサービス

# 内航部門

東京～苫小牧  
ほっかいどう丸  
さんふらわあ とまこまい



東京～苫小牧を速力30ノット、20時間で  
結ぶ超高速船によるシャーシ輸送

# 内航部門

**紙専用船**  
南王丸 王公丸  
神川丸



大型RORO船による紙輸送専用船

# 内航部門

常陸那珂～苫小牧  
新北王丸  
勇王丸



一般雑貨シャーシをメインに首都圏、北関東と北海道経済圏を20時間で結ぶシャトルサービス

# 内航部門

**日立～北九州**  
**ひたち・げんかい**  
(8月運航開始予定)



北関東と北九州を大型RORO船2隻で  
ダイレクトに結ぶ新サービス

# 内航部門

石灰石専用船  
美津川丸 千津川丸  
須寿川丸



鉄鋼副原料用および  
セメント原料用石灰石専用船

# フェリー部門

八戸～苫小牧  
シルバーQueen  
フェリーはちのへ



北海道の銀嶺をイメージする  
「シルバーフェリー」の愛称で親しまれ、  
本州と北海道を最短ルートで結ぶ



# 取引先

## 近海

## 内航

## フェリー

- 鉄鋼 (JFE)
- セメント
- 電力
- 製紙メーカー
- ホクレン
- 合板メーカー
- 商社
- 輸送会社
- 不特定多数

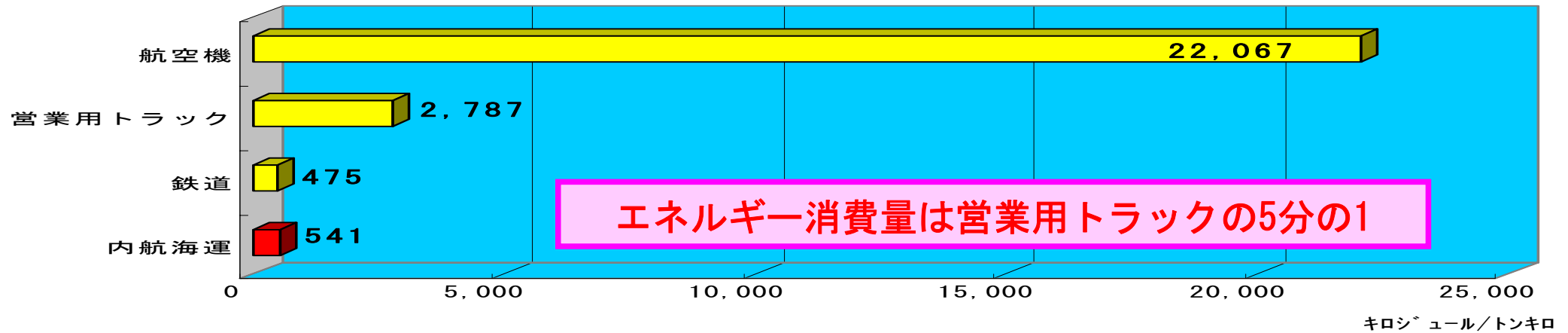
- 石灰石・鋼材
- 石炭
- 石炭
- チップ
- 木材製品・チップ
- 雑貨

- 石灰石
- 石灰石
- 石炭
- 紙製品
- 生乳
- 雑貨シャシ・商品車

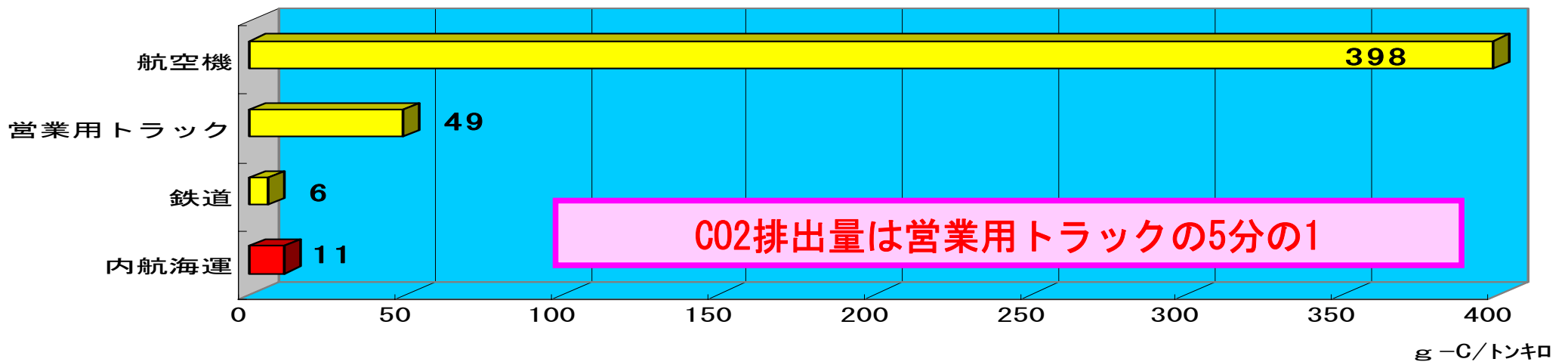
- トラック・宅配便
- 旅客・乗用車

# 環境にやさしい内航海運

1トンキロ輸送するのに必要なエネルギー



貨物輸送機関の二酸化炭素排出原単位



(注) 1トンの荷物を1km運ぶのに排出するCO2の比較

出典：日本内航海運組合総連合会 内航海運の活動

# Ⅲ. 当社の業績

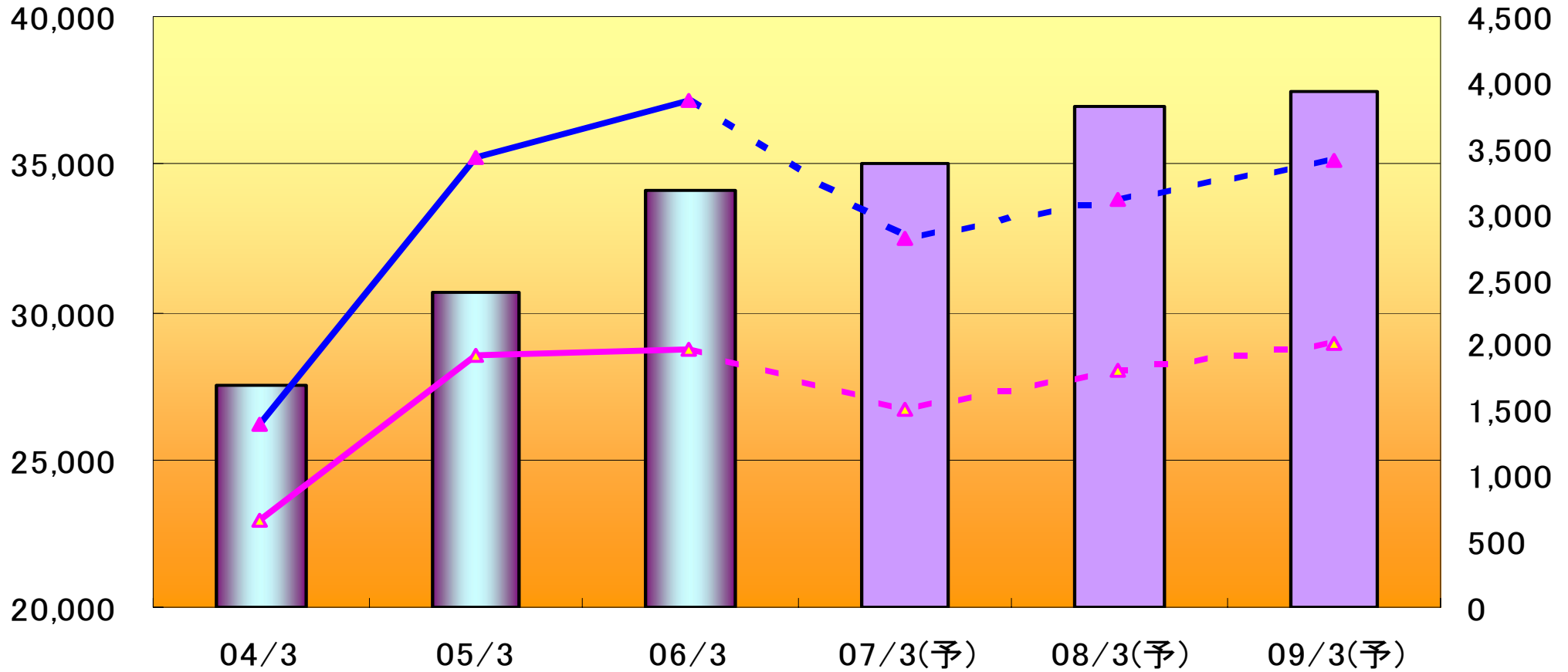
# 売上高・経常利益の推移

売上高

経常利益

百万円

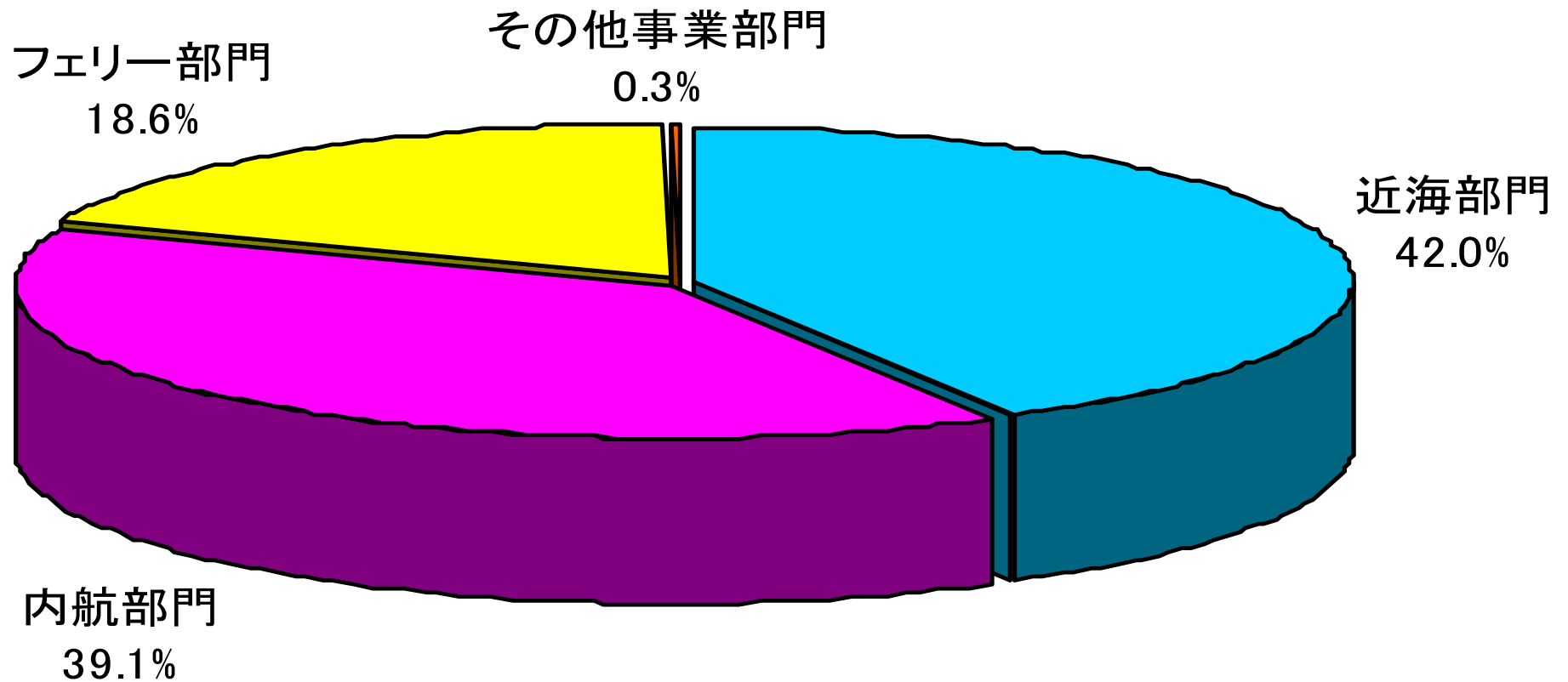
百万円



売上高合計
  経常利益
  当期純利益

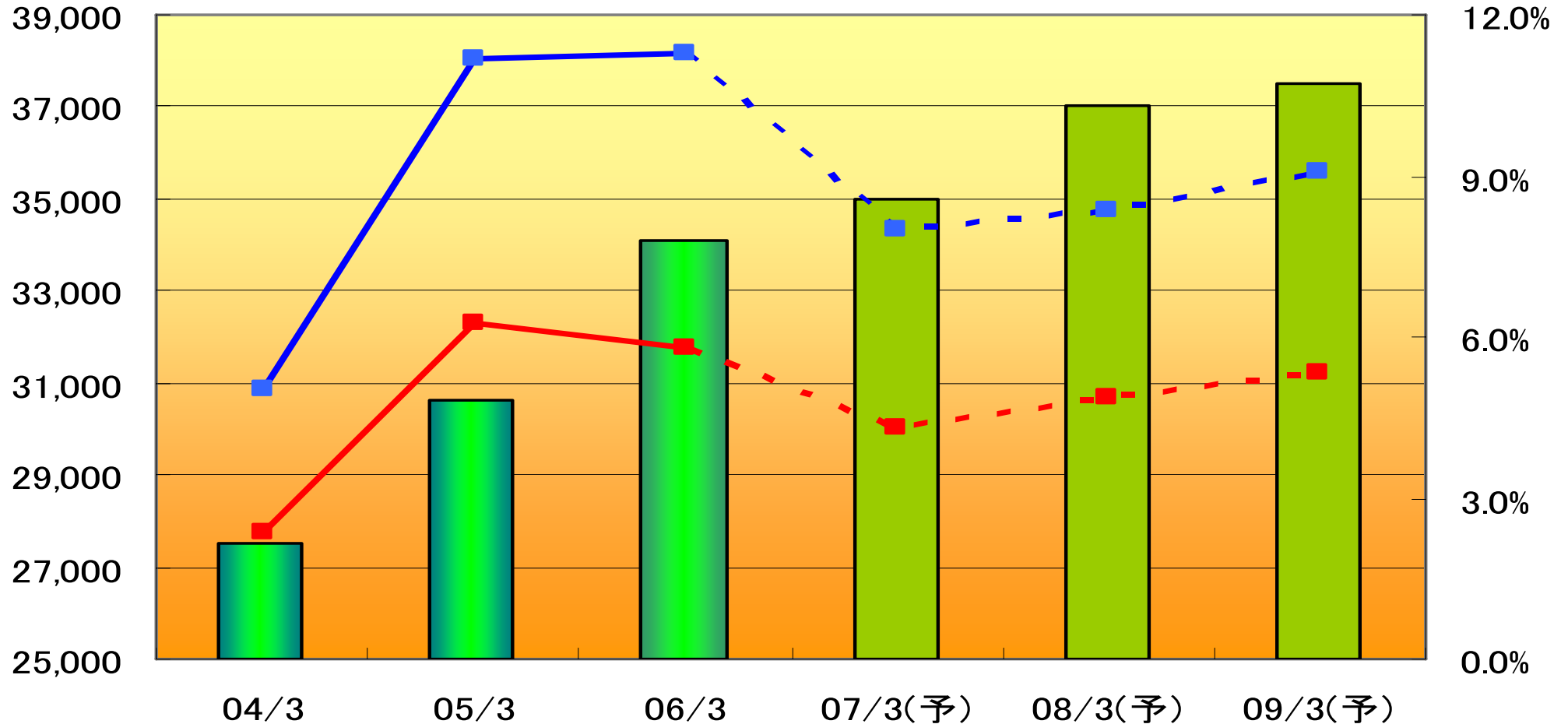
# 部門別売上高比率

2007年3月期見込み



# 売上高経常利益率・売上高当期純利益率

百万円

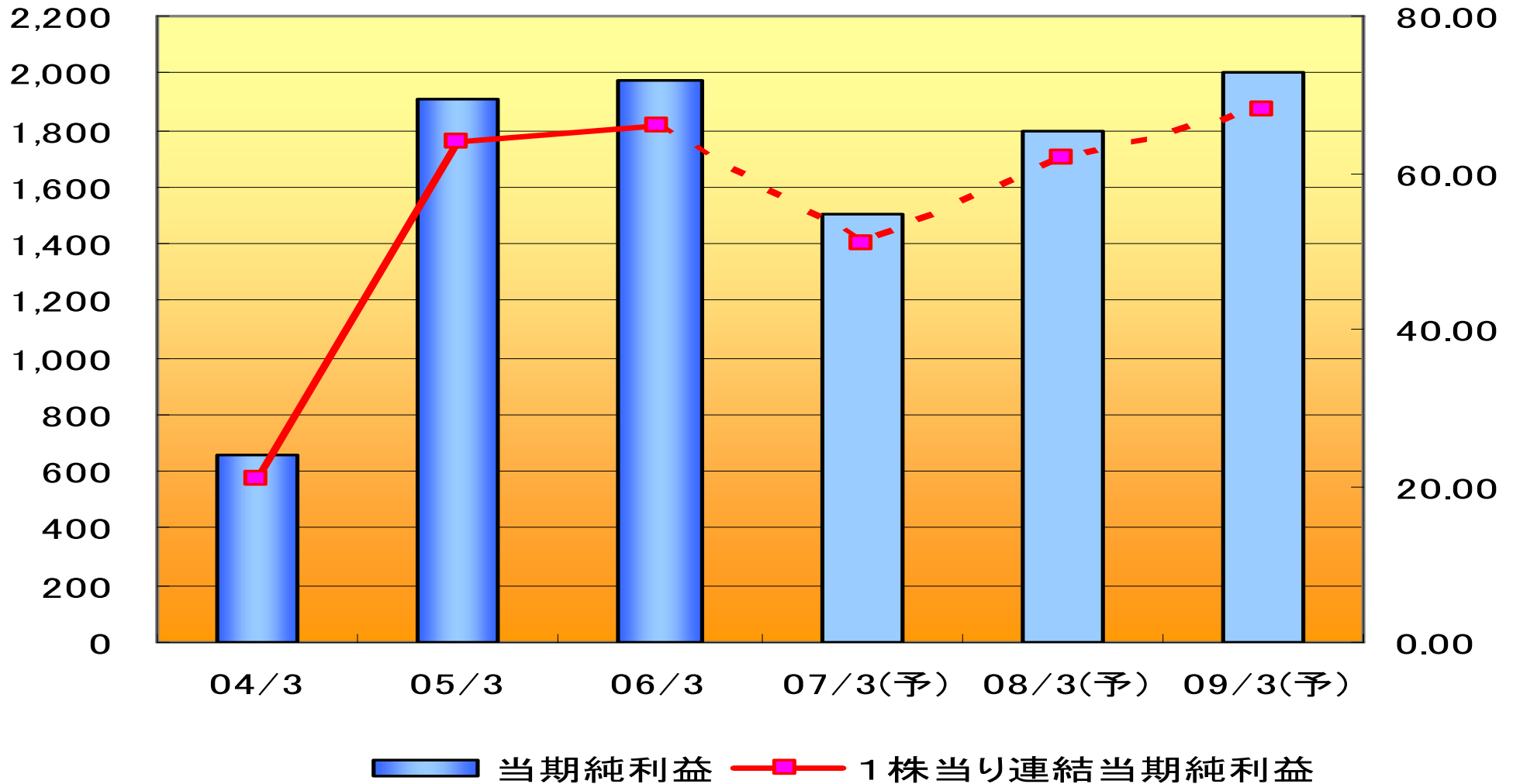


売上高合計
  売上高経常利益率
  売上高当期純利益率

# 1株当たり連結当期純利益

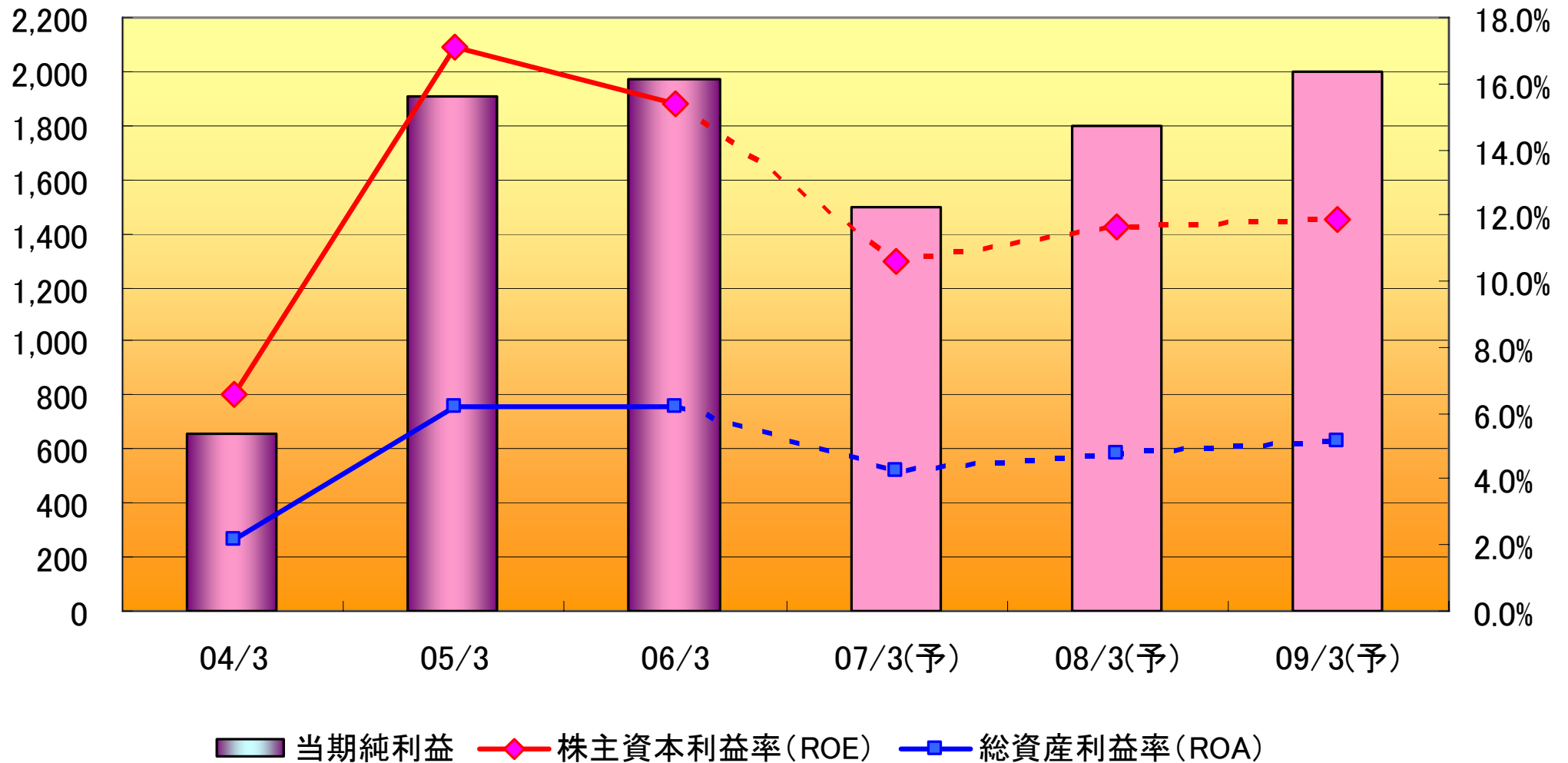
百万円

1株当り:円



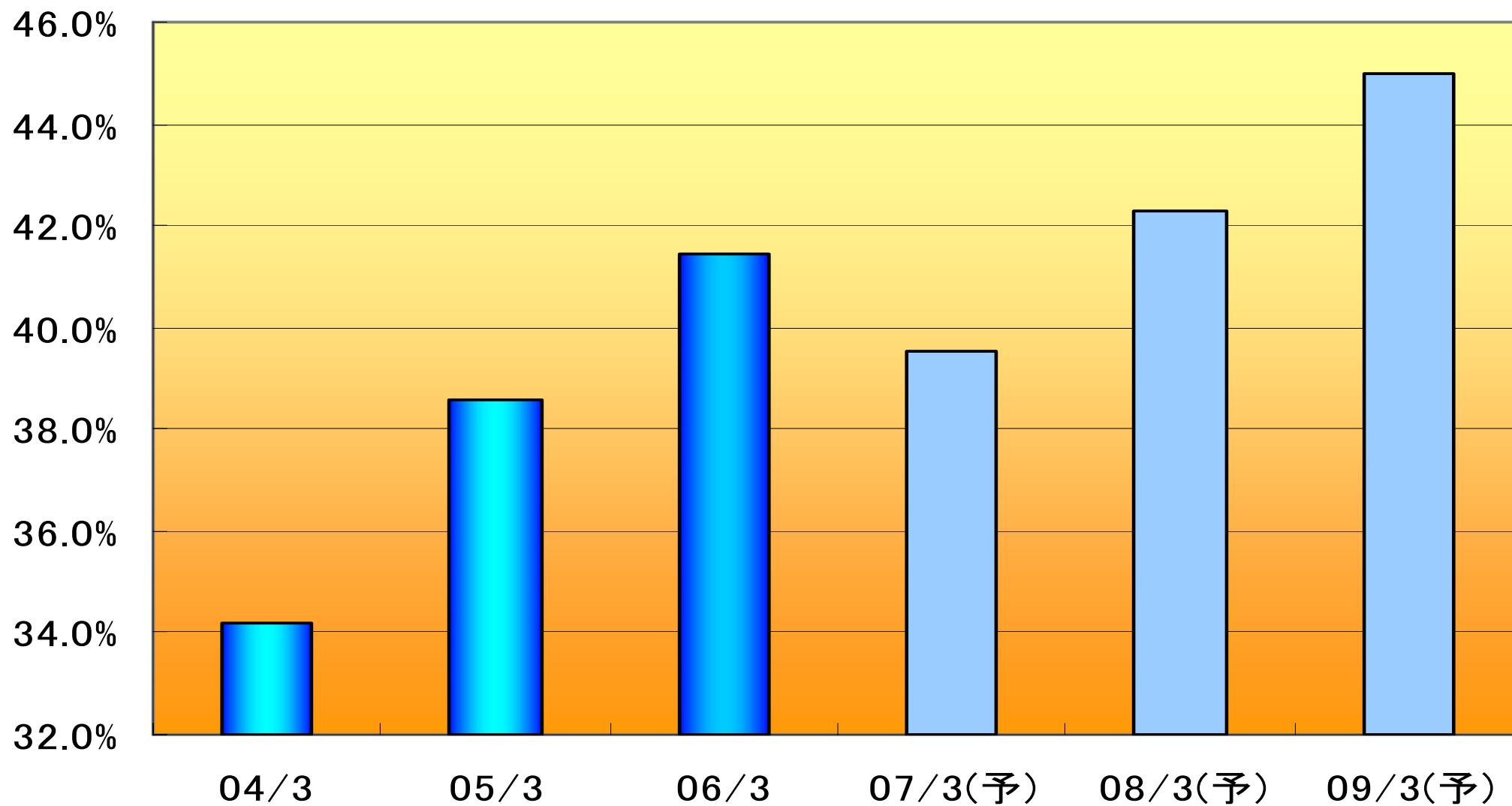
# (連結) ROE ROA

百万円

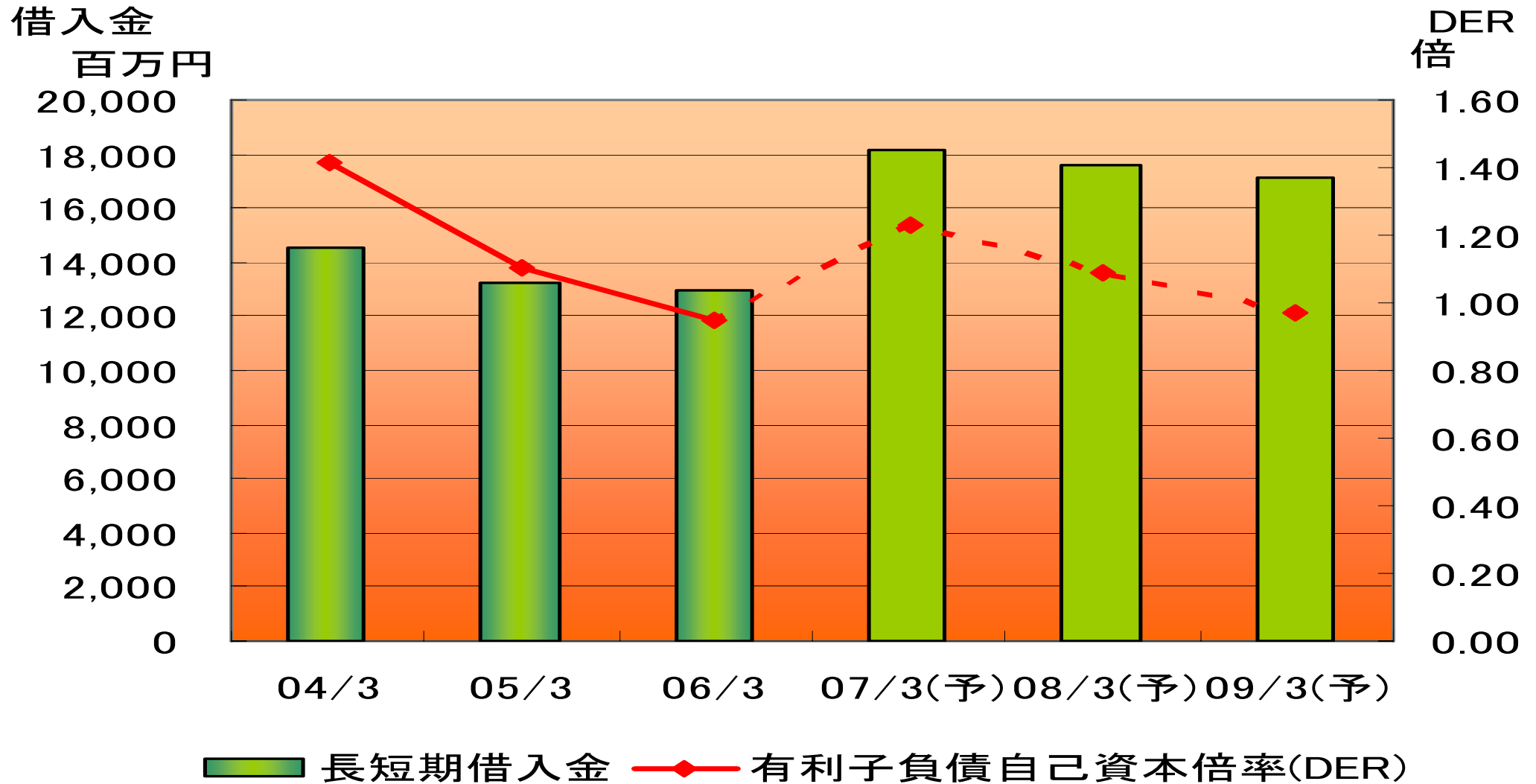




# (連結)株主資本比率



# (連結)借入金とDERの推移

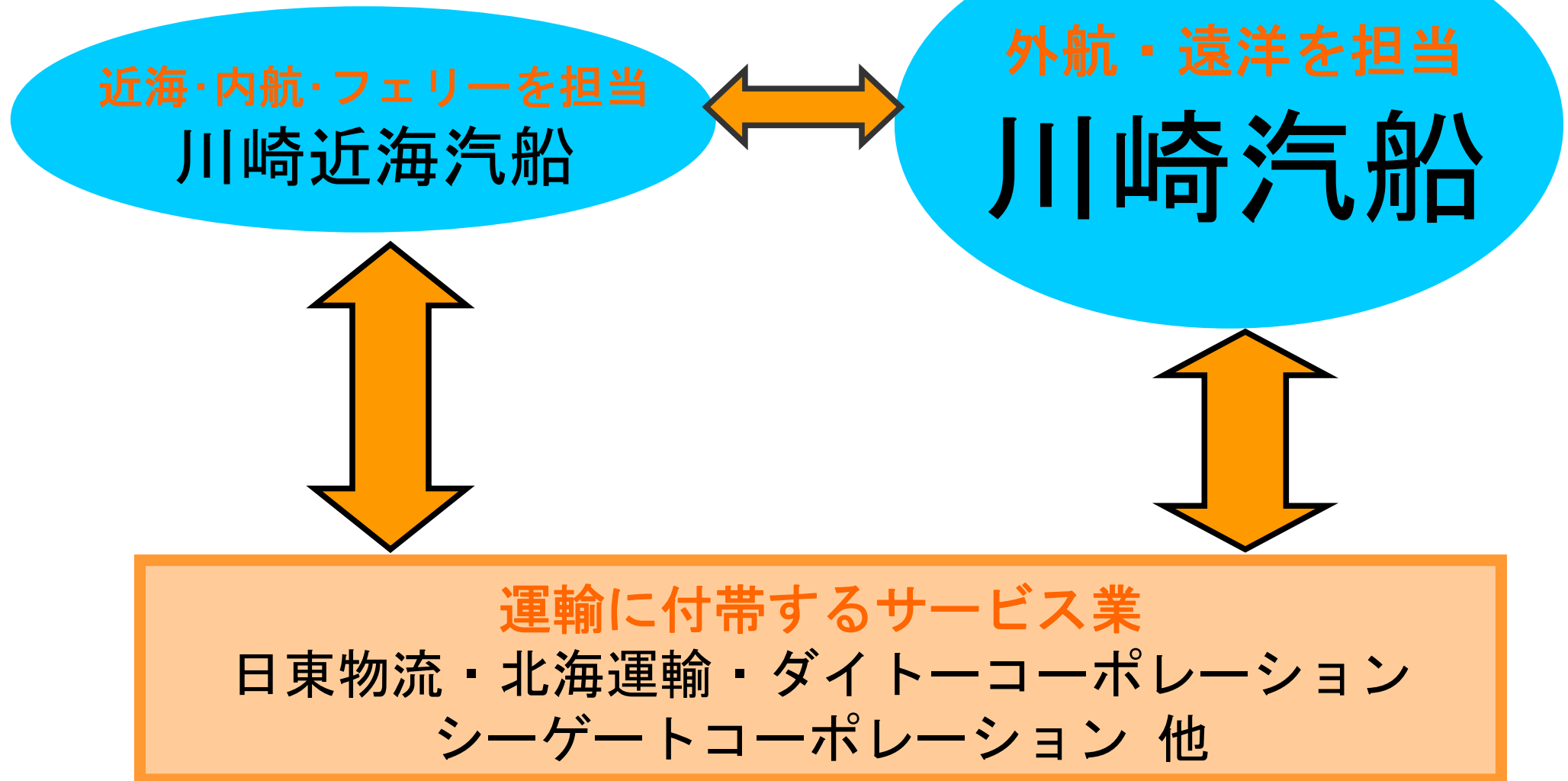


# IV. 当社の事業展開

# 当社の強み

1. 三部門が補完しあう安定経営
2. 長期契約中心の  
安定した営業基盤と持続的成長
3. 安定した財務基盤
4. 川崎汽船グループとしてのブランド

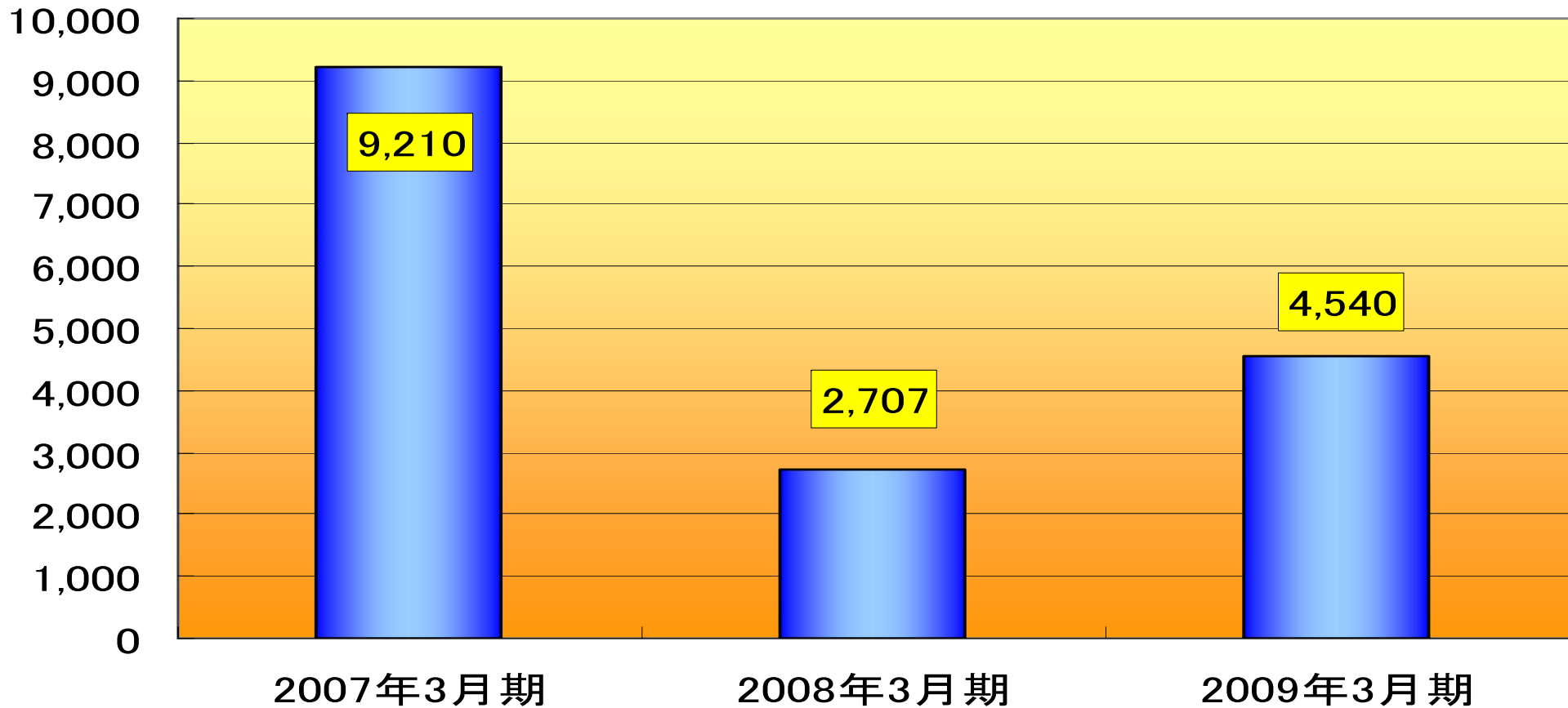
# 川崎汽船グループ



# 投資額の推移

支払ベース投資額 総額165億円

百万円



2009年以降竣工の新造船建造資金が含まれております。

# 船隊整備の内容

## 期間中の竣工船

### 近海部門

不定期船バルカー	24,000型1隻	(社船)
同上	16,000型1隻	(社船)
定期船	10,000型3隻	(内傭船2隻)

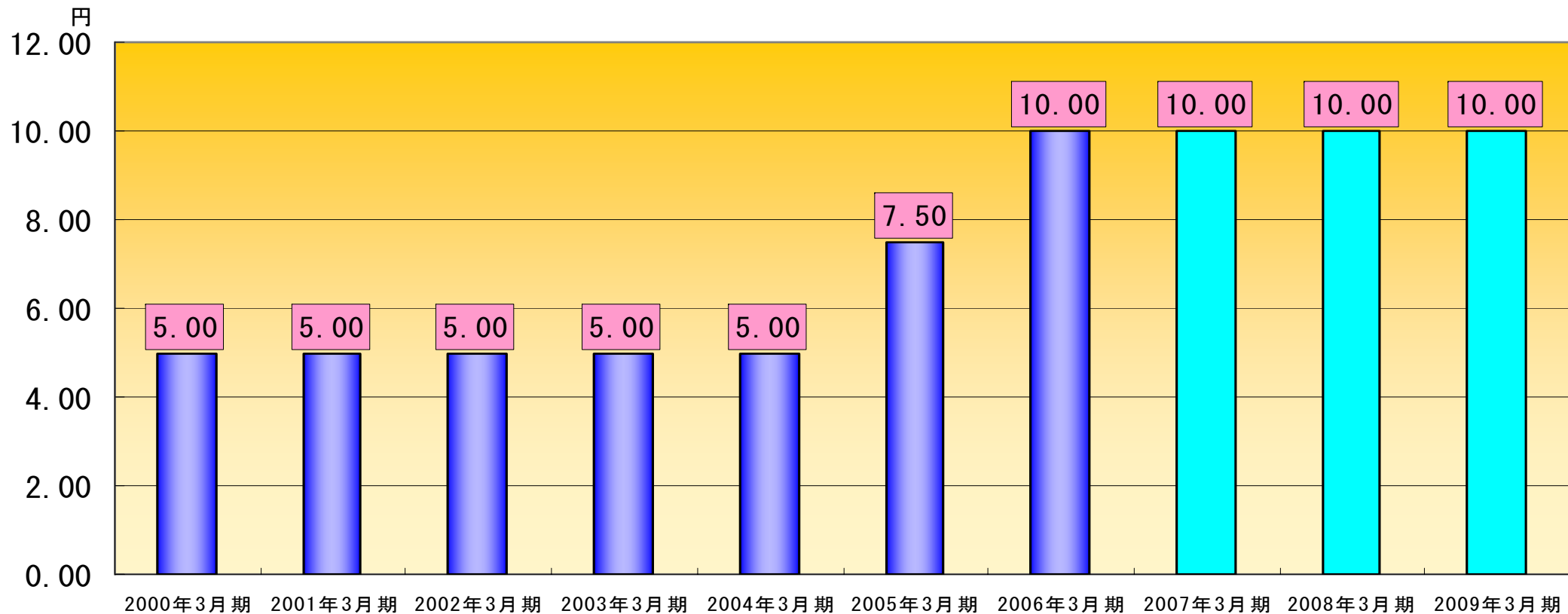
### 内航部門

不定期船専用船	6,000型1隻	(社船)
S U L 船	6,600型2隻	(社船)
R O R O 船	14,000型2隻	(社船)

# V. 配当について



# 配当政策について



※2005年3月期は記念配当1円50銭を含む

## 安定配当の継続

2007年3月期以降も年間配当金10円を継続予定  
 (2008、2009年3月期は所期の目標達成が前提)

# 株価・出来高の推移

